

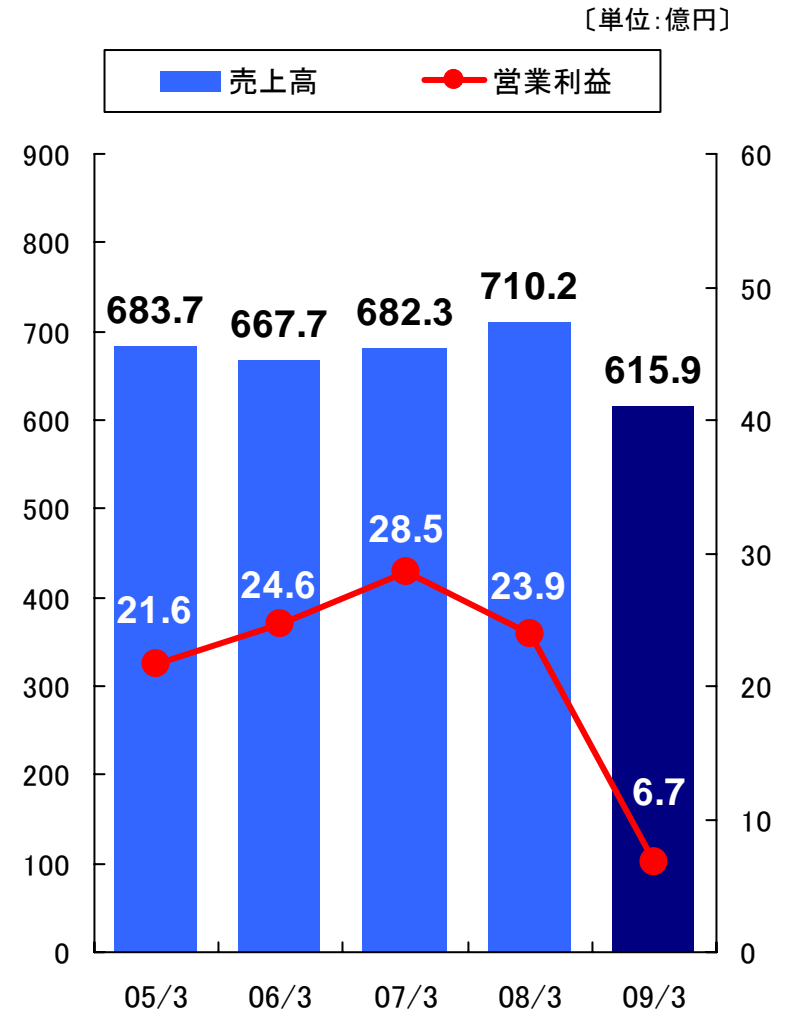
2009年3月期 決算の概況

2009年5月26日

 株式会社 河合楽器製作所
Kawai Musical Instruments Mfg.Co.,Ltd.

●● 連結業績の概要 ●●

- ◆ 連結売上高は、楽器事業における販売減少や、素材加工事業における受注の減少により3期ぶりの減収。
- ◆ 営業利益は売上高の減少、原材料価格の上昇等により減益。
- ◆ 経常利益は、営業利益の減少に加え、為替差損の増加により減益。
- ◆ 当期利益は、土地売却益を計上したが、繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整により減益。

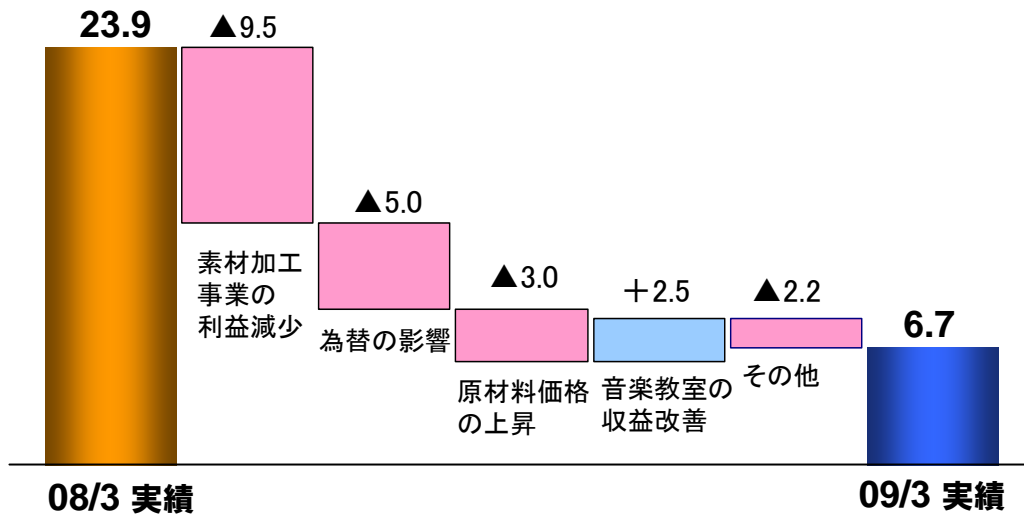


◆景気悪化の影響により売上が減少、営業利益は原材料価格の上昇等により減益。

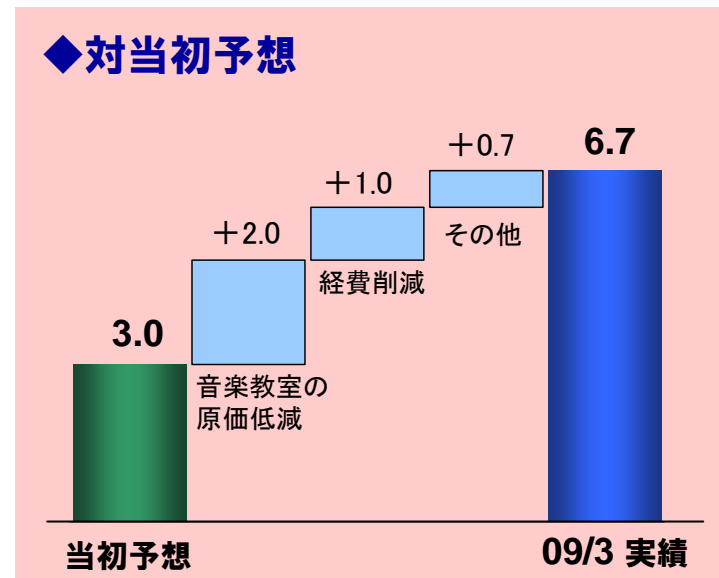
〔単位:億円〕	08/3		09/3		前期 差異	前期比	当初予想 (09.2.10発表)	予想差異
		%		%				
売上高	710.2	—	615.9	—	▲94.3	▲13.3%	616.0	▲0.1
営業利益	23.9	3.4%	6.7	1.1%	▲17.2	▲72.0%	3.0	+3.7
経常利益	16.7	2.4%	▲1.4	—	▲18.1	—	▲8.0	+6.6
当期利益	11.5	1.6%	▲7.8	—	▲19.3	—	▲8.0	+0.2
為替レート US\$	117.8円		103.5円		▲14.3円		103.5円	0.0円
EURO	161.2円		152.4円		▲8.8円		152.4円	0.0円

営業利益の主な対前年増減要因

〔単位:億円〕

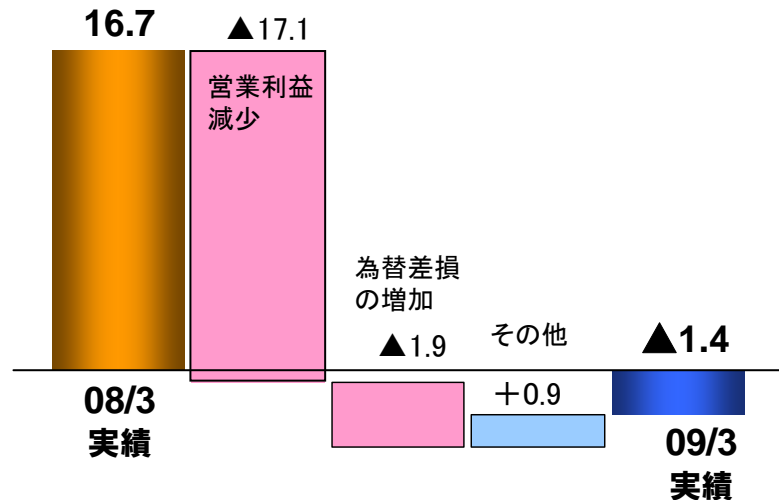


◆対当初予想



経常利益の主な対前期増減要因

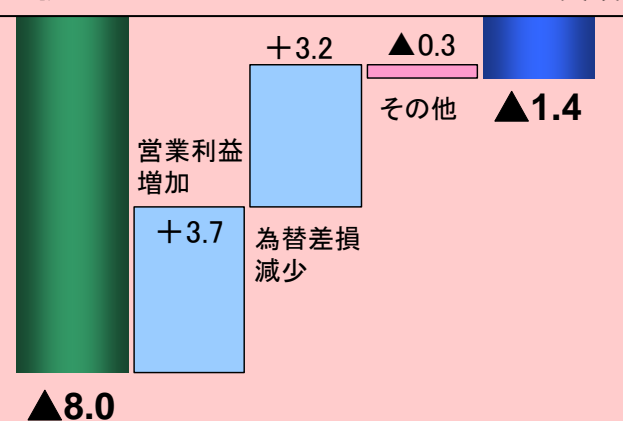
[単位: 億円]



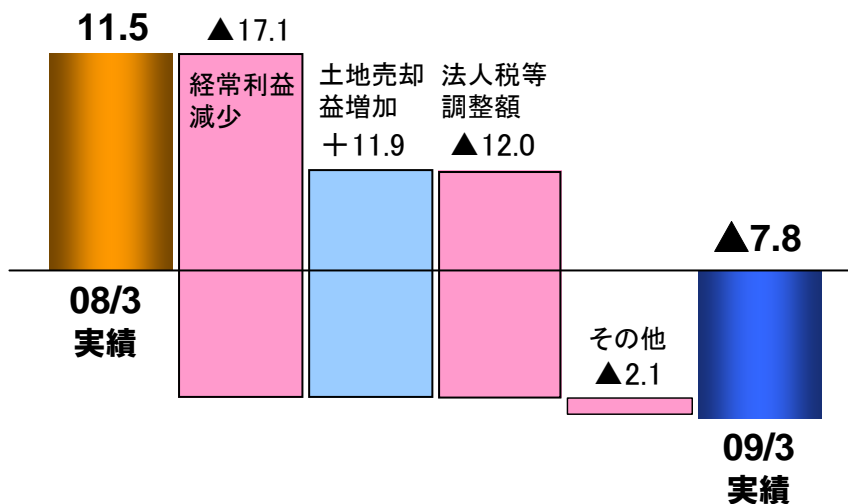
◆対当初予想

当初予想

09/3 実績



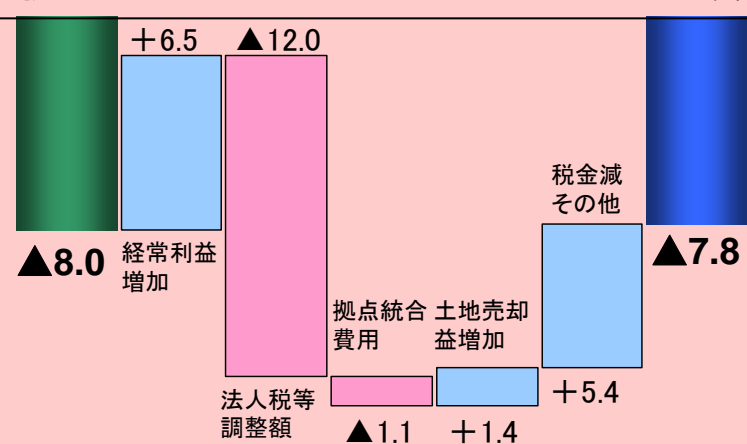
当期利益の主な対前期増減要因



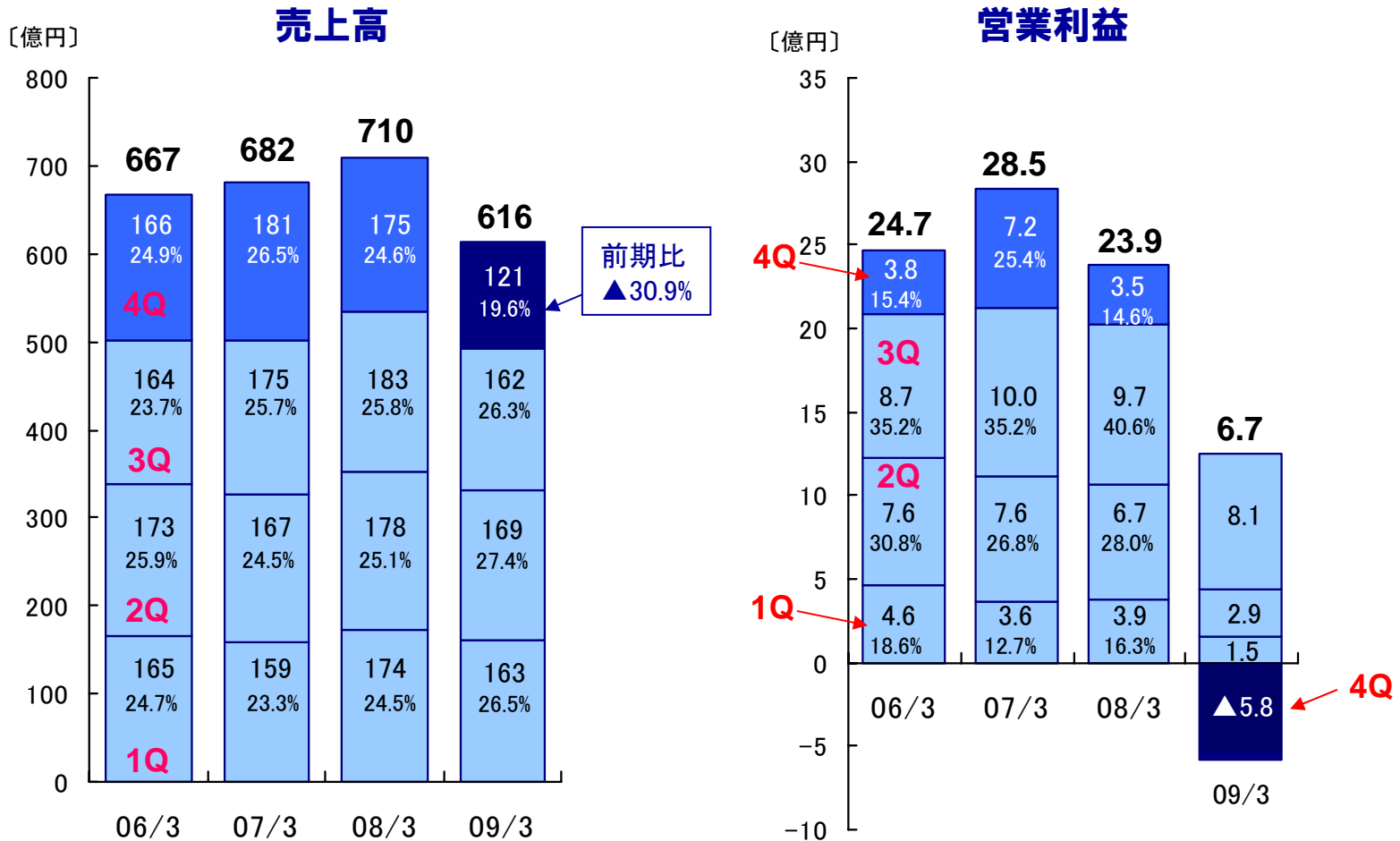
◆対当初予想

当初予想

09/3 実績



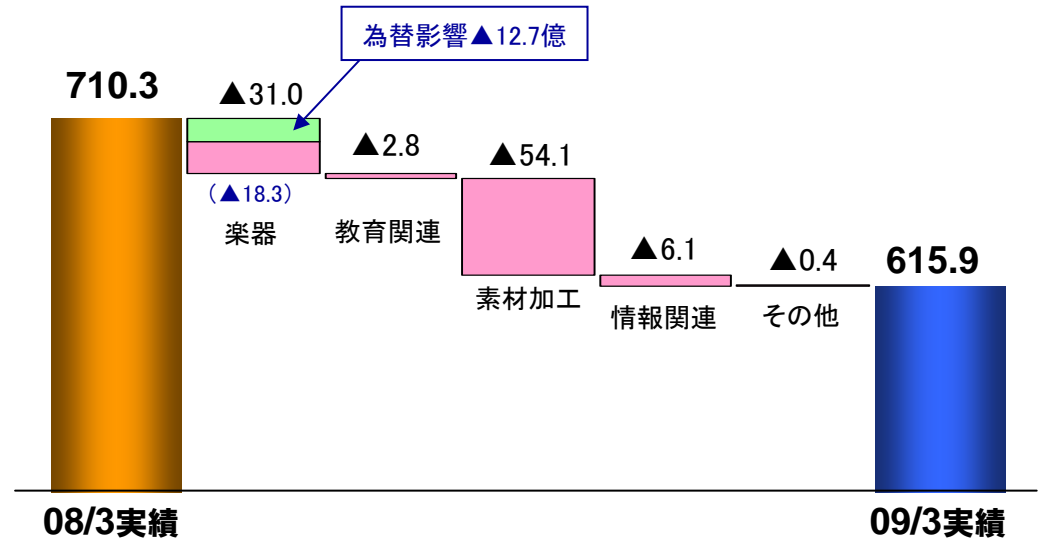
◆第4Qに入り、売上高、営業利益ともに大きく減少。



◆売上・利益ともに素材加工事業が大きく減少。

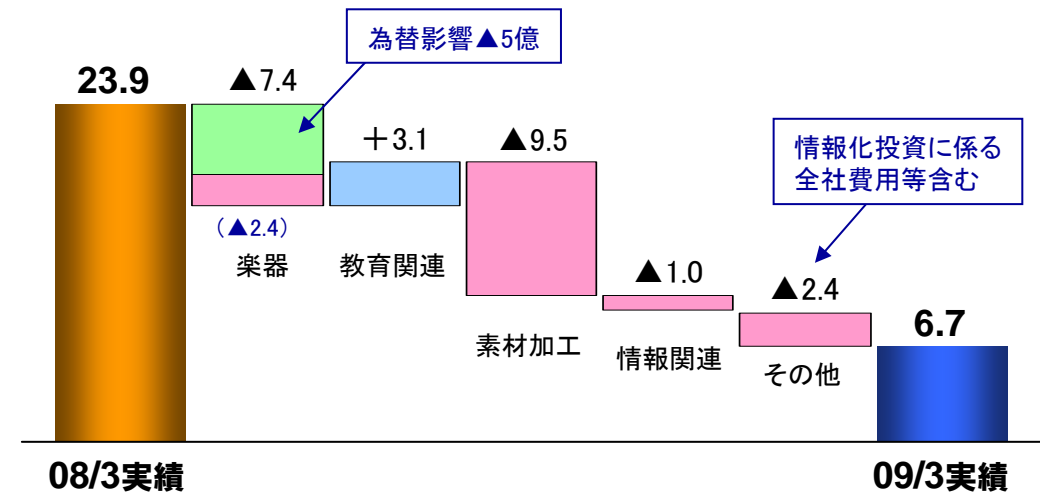
売上高

[単位:億円]	08/3	09/3	前期比
楽 器	324.3	293.3	▲9.6%
教育関連	195.4	192.6	▲1.4%
素材加工	156.6	102.5	▲34.5%
情報関連	30.6	24.5	▲19.9%
そ の 他	3.4	3.0	▲11.8%
合計	710.3	615.9	▲13.3%



営業利益

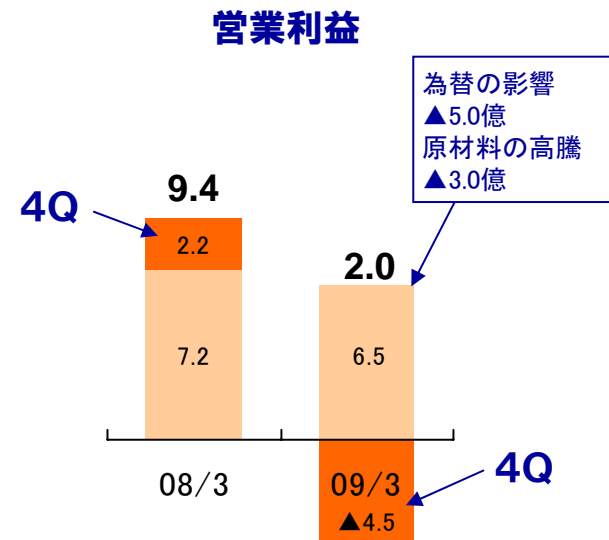
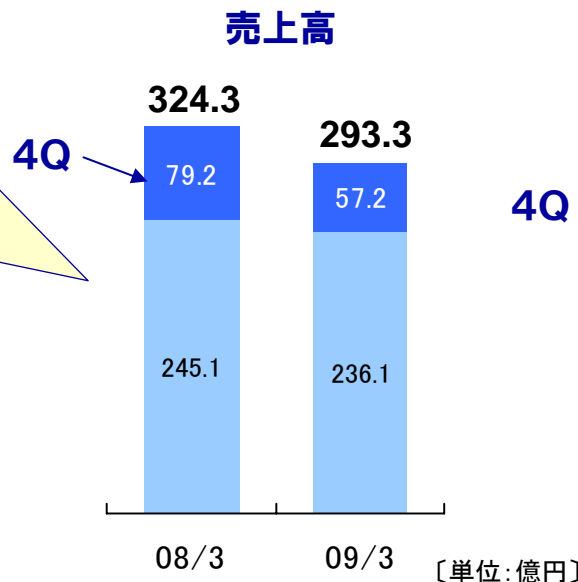
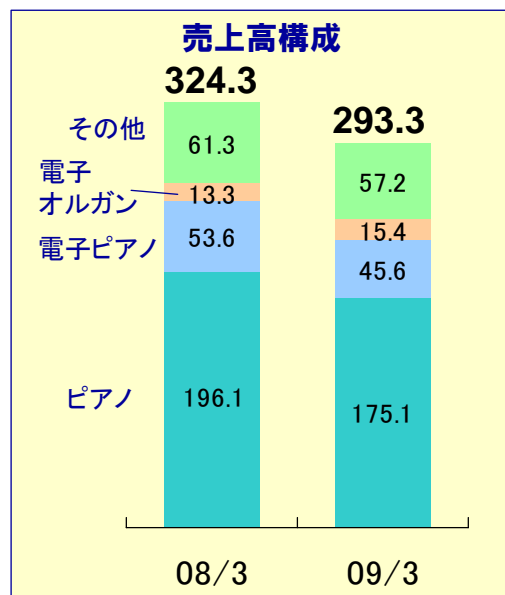
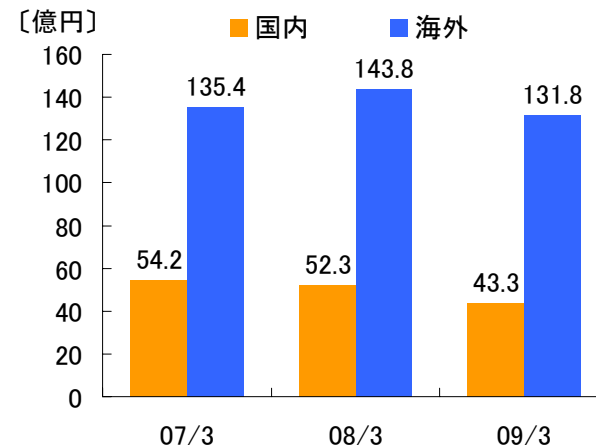
[単位:億円]	08/3	09/3	前期比
楽 器	9.4	2.0	▲78.7%
教育関連	3.9	7.0	+79.5%
素材加工	12.3	2.8	▲77.2%
情報関連	▲0.3	▲1.3	-
そ の 他	▲1.4	▲3.8	-
合計	23.9	6.7	▲72.0%



◆ピアノは販売台数では前期比増加も、第4Qの悪化の影響により減収減益。

ピアノ	・中国市場での販売が順調に増加し、台数では前年を上回ったが、国内・欧米の需要低迷により減少。
電子ピアノ	・国内市場の悪化、海外は、主要市場である欧米の景気悪化の影響、および新製品の端境期により減少。
電子オルガン	・北米市場向けの大型オルガンが好調に推移し増加。

地域別ピアノ売上高推移



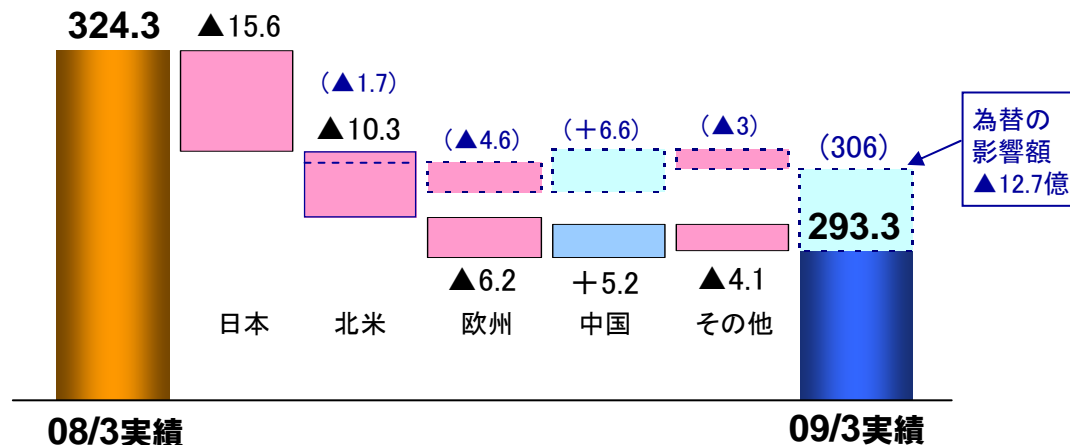
◆中国が好調を継続。為替影響を除外した実質売上高では前期比5.6%の減少。

売上高

〔単位：億円〕		08/3	09/3	前期比
日	本	129.3	113.7	▲12.1%
北	米	90.9	80.6	▲11.3%
欧	州	48.8	42.6	▲12.7%
中	国	30.8	36.0	+16.9%
そ	の	他	20.4	▲16.7%
合計		324.3	293.3	▲9.6%

為替レート	US\$	117.8円	103.5円
	EURO	161.2円	152.4円

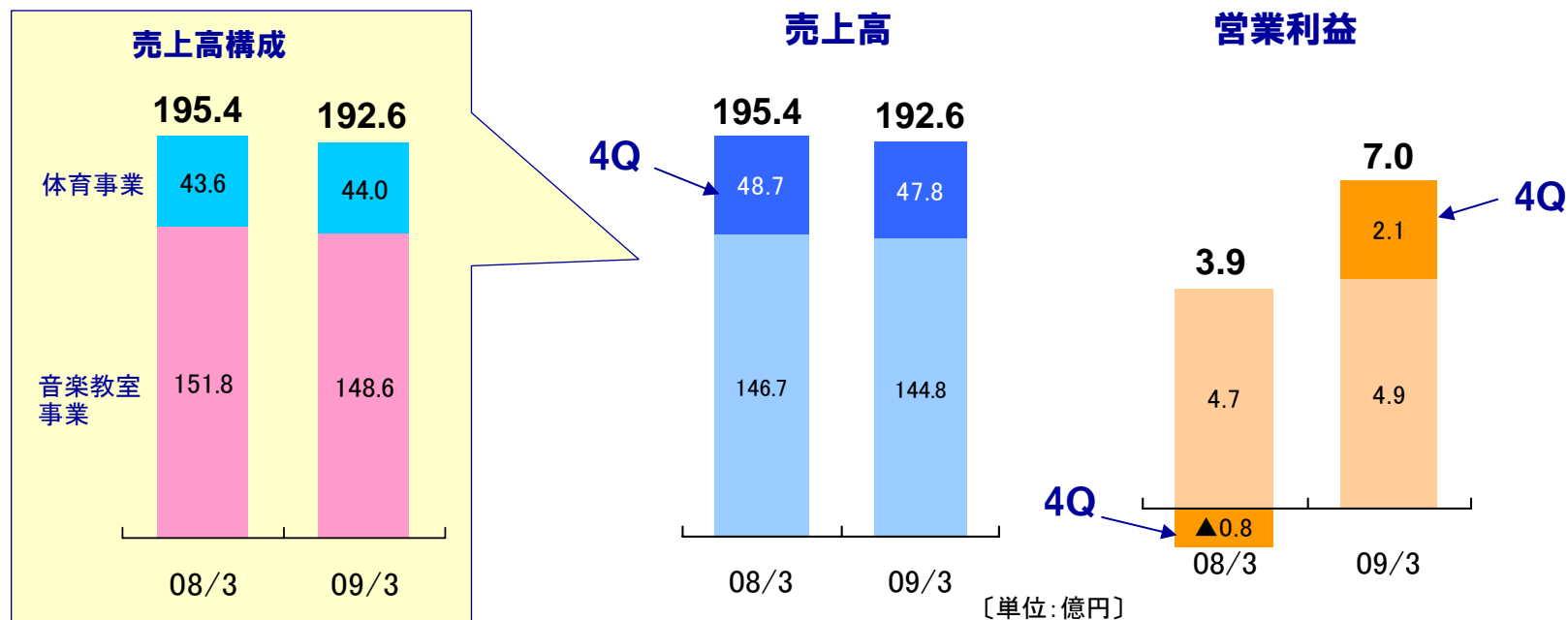
()は為替影響を除外した実質増減額



日本	・消費低迷に歯止めがかからず、ピアノ・電子ピアノともに減少。
北米	・市場が大きく低迷し、ピアノ・電子ピアノの販売減少する中、利益率の高い大型電子オルガンの販売が好調に推移し、為替の影響を除外すると▲1.9%の微減。
欧州	・景気低迷の影響により、ピアノ・電子ピアノともに販売減少し、前期比減収となったが、ロシアにおいては販路拡大により大幅増収。
中国	・ピアノ販売が順調に拡大し、大幅増収(金額前年比+16.9%)。
その他	・円高の影響により各市場で販売低迷する中、インドでは着実に販売が拡大。

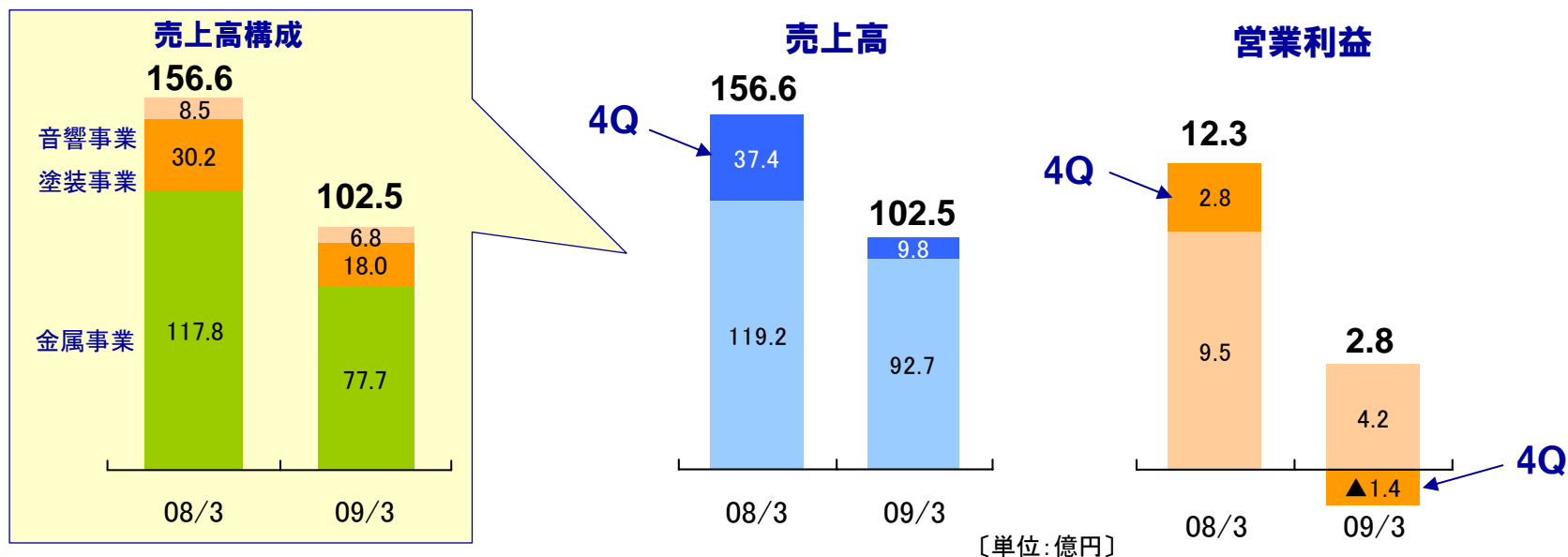
◆生徒数は減少となったが、音楽教室の収益改善により増益。

音楽教室事業	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽教室は、子ども増加エリアへの教室新設による生徒数増加に取り組んだが、既存教室の生徒数減少をカバーできず減収。 ・利益面では、生徒募集方法の見直しによる収益改善により増益。
体育事業	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児・児童向け体育教室、高齢者向け介護予防教室が堅調に推移し増収増益。

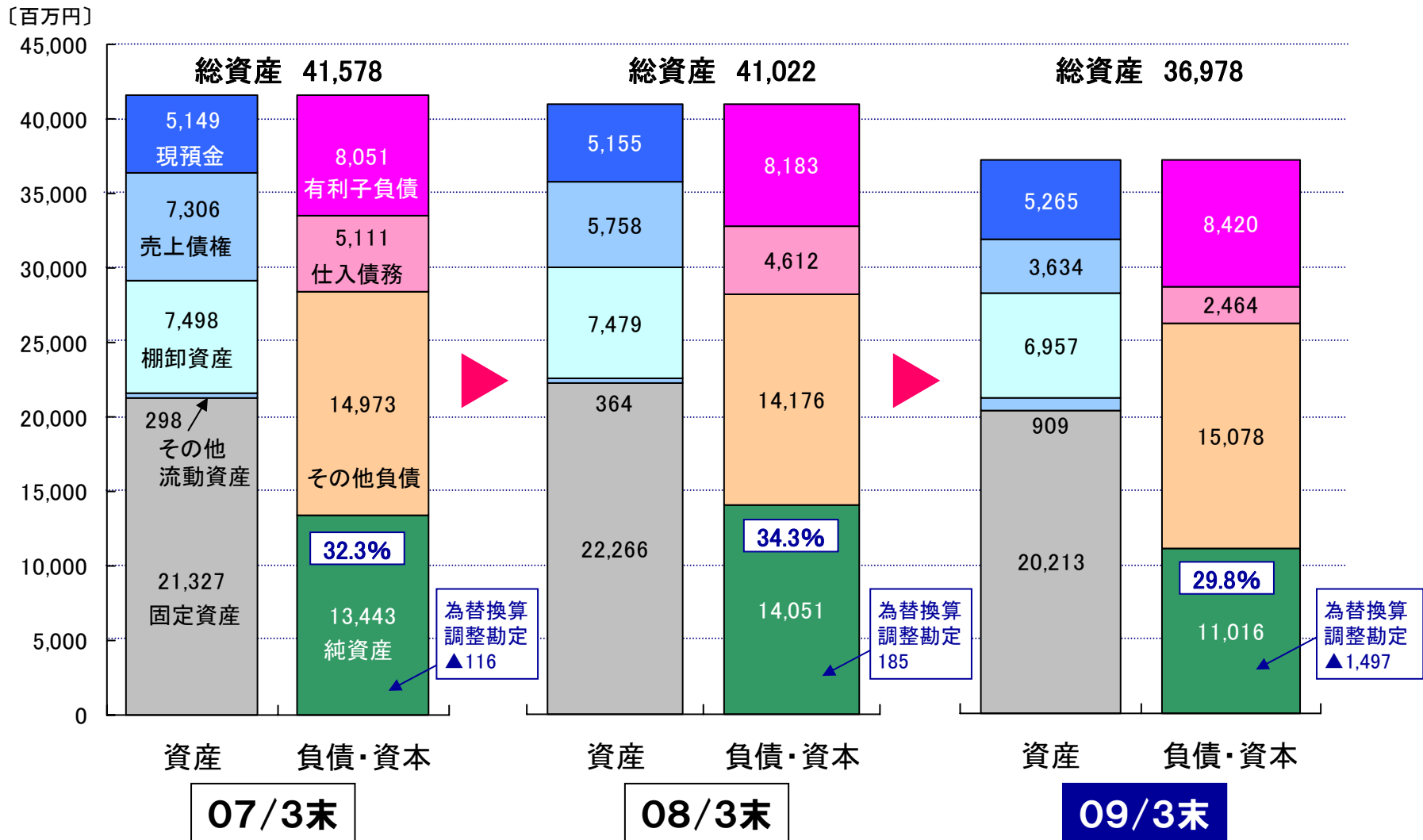


◆金属・塗装事業の急激な受注減少により、大きく減収減益。

金属事業	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体関連・自動車関連ともに、業界の不況の影響を受けて大幅に受注が減少し、減収減益。 ・金属材料価格の高止まりにより、材料費高の影響は無し。
塗装事業	<ul style="list-style-type: none"> ・米国景気の急激な悪化により、高級車需要が低迷し減収。 ・上半期は堅調に推移しており、利益は確保。
音響事業	<ul style="list-style-type: none"> ・建築着工の大幅減少に伴い、防音室受注が減少。



◆資産の圧縮が進んだが、利益減少と為替換算調整により自己資本比率は低下。

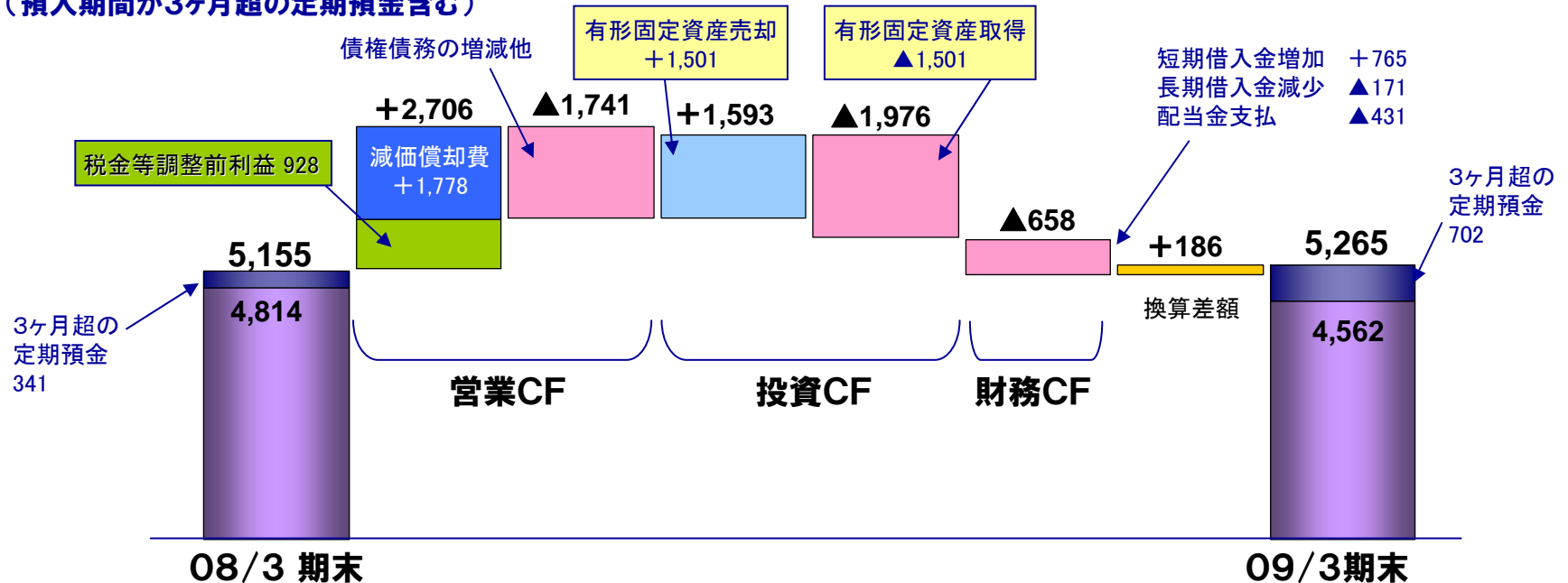


◆フリーキャッシュ・フローを確保し、現預金残高では前期比増加。

〔単位:百万円〕	08/3期末	09/3期末	前期末増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,644	965	▲1,679
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,175	▲383	+1,792
フリーキャッシュ・フロー	469	582	+113
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲610	▲658	▲48
現金及び現金同等物の期末残高	4,814	4,562	▲252

現金及び預金期末残高比較

(預入期間が3ヶ月超の定期預金含む)

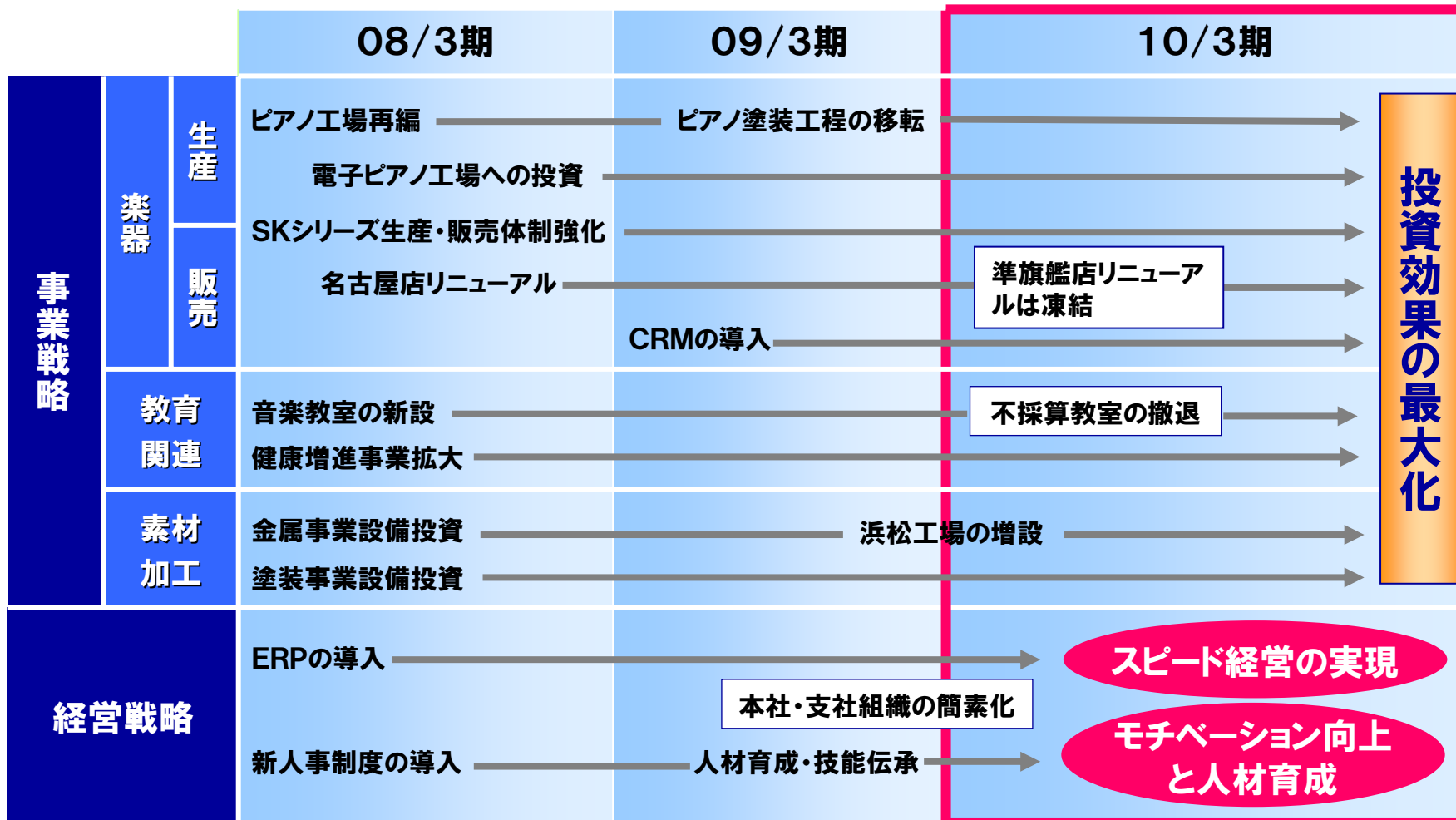


**2010年3月期
通期業績予想と重点戦略**



◆ 厳しい経営環境下でも利益を確保できる経営体質への転換を図る。

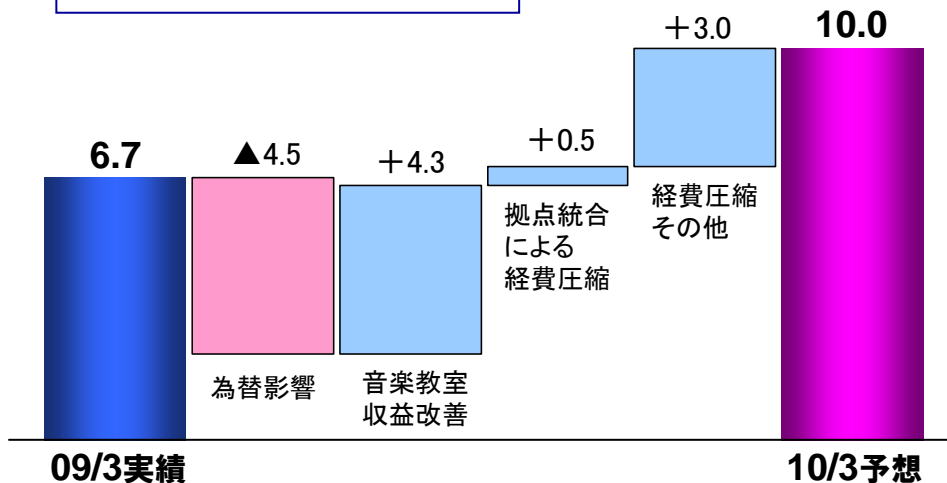
第2次中期経営計画



◆売上は減少となるが、音楽教室の収益改善、経費圧縮により増益の見通し。

〔単位:億円〕	09/3実績		10/3予想		前期 差異	前期比	10/3 中間期予想
		%		%			
売上高	615.9	—	530.0	—	▲85.9	▲13.9%	257.0
営業利益	6.7	1.1%	10.0	1.9%	+3.3	+49.3%	1.0
経常利益	▲1.4	—	4.0	0.8%	+5.4	—	▲4.0
当期利益	▲7.8	—	3.0	0.6%	+10.8	—	▲5.0
為替レート	US\$	103.5円	90.0円		▲13.5円		
	EURO	152.4円	120.0円		▲32.4円		

営業利益の主な増減



経常利益の主な増減

営業利益の増加 +3.3億
為替差損の減少 +3億

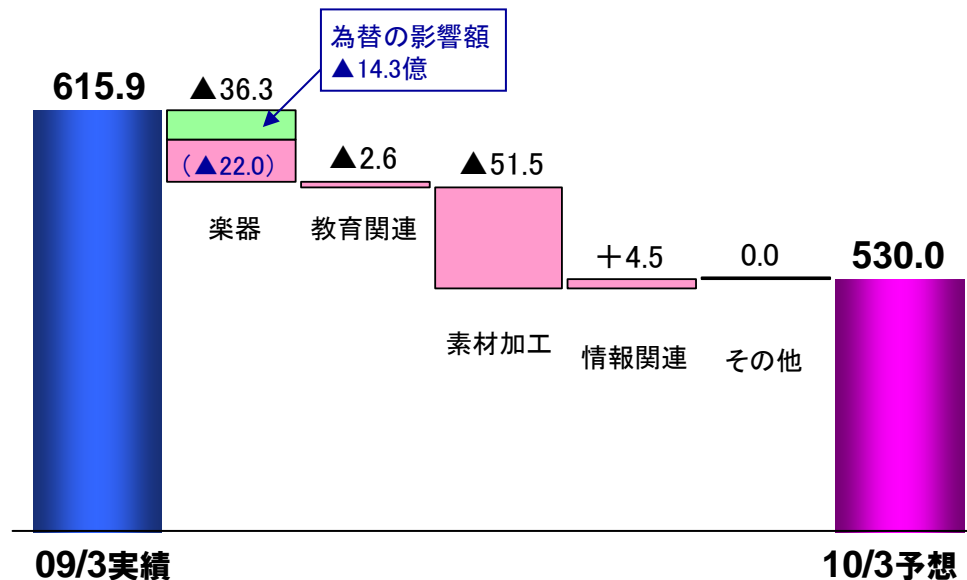
当期利益の主な増減

経常利益の増加 +5.4億
土地売却益未発生 ▲12億
繰延税金資産取崩し未発生 +12億

◆素材加工事業の受注減少等により、売上・利益ともに大幅減少の見通し。

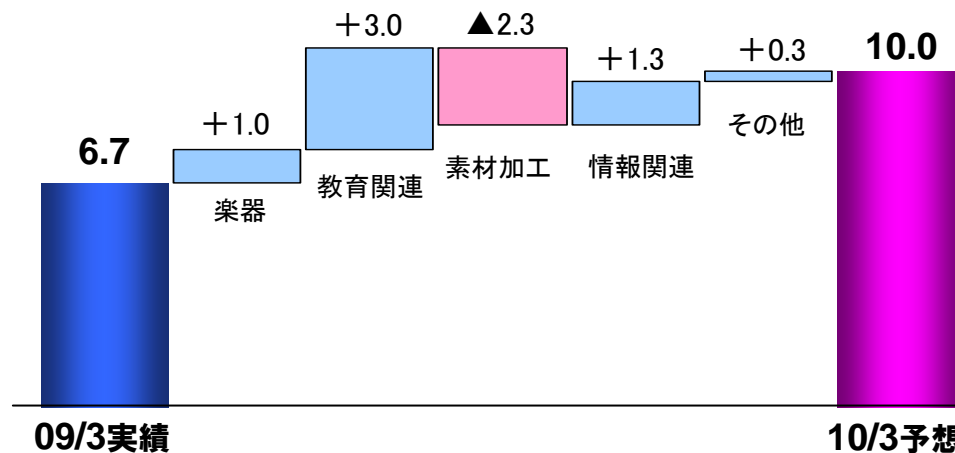
売上高

	09/3 実績	10/3 予想	前期比
〔単位:億円〕			
楽 器	293.3	257.0	▲12.4%
教 育 関 連	192.6	190.0	▲1.3%
素 材 加 工	102.5	51.0	▲50.2%
情 報 関 連	24.5	29.0	+18.4%
そ の 他	3.0	3.0	0.0%
合 計	615.9	530.0	▲13.9%



営業利益

	09/3 実績	10/3 予想	前期比
〔単位:億円〕			
楽 器	2.0	3.0	+50.0%
教 育 関 連	7.0	10.0	+42.9%
素 材 加 工	2.8	0.5	▲82.1%
情 報 関 連	▲1.3	0.0	-
そ の 他	▲3.8	▲3.5	-
合 計	6.7	10.0	+49.3%



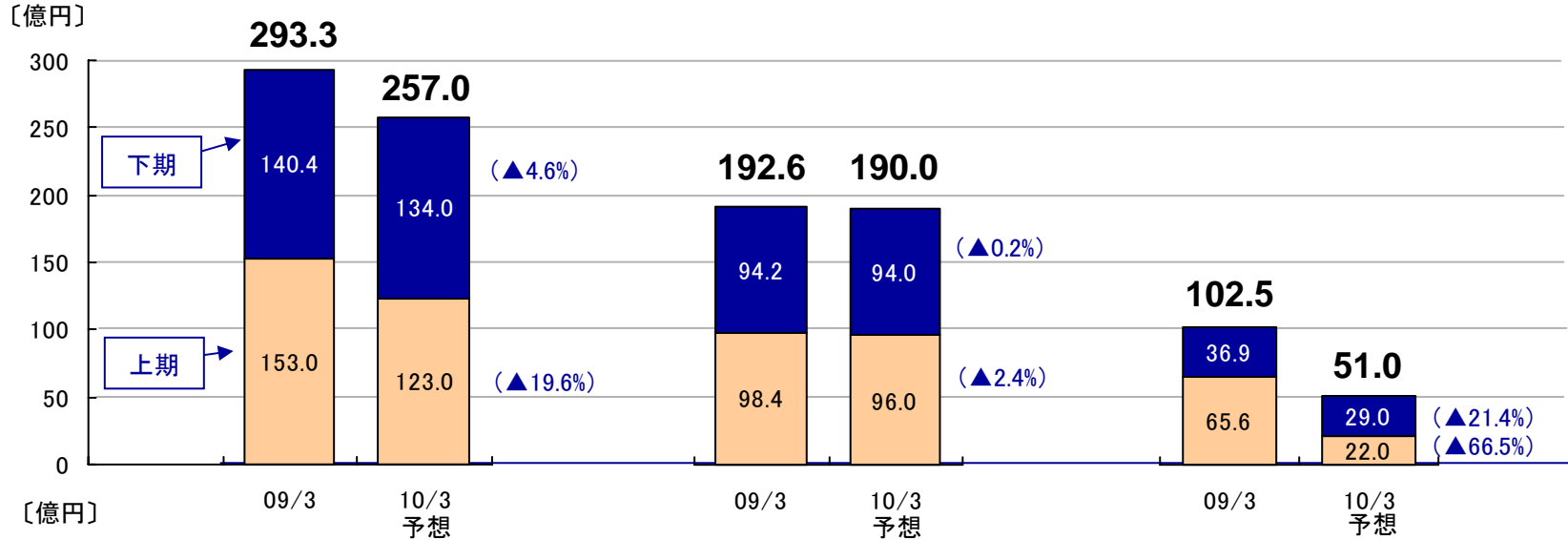
◆各事業において、下期に利益が大きく改善する見通し。

楽器事業

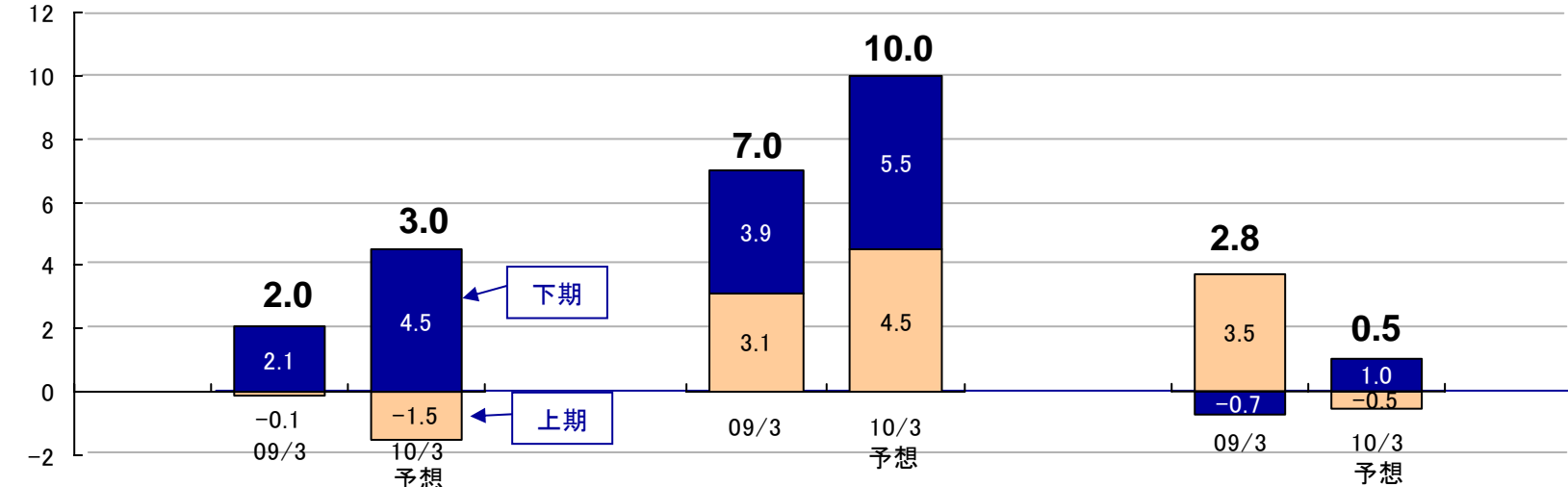
教育関連事業

素材加工事業

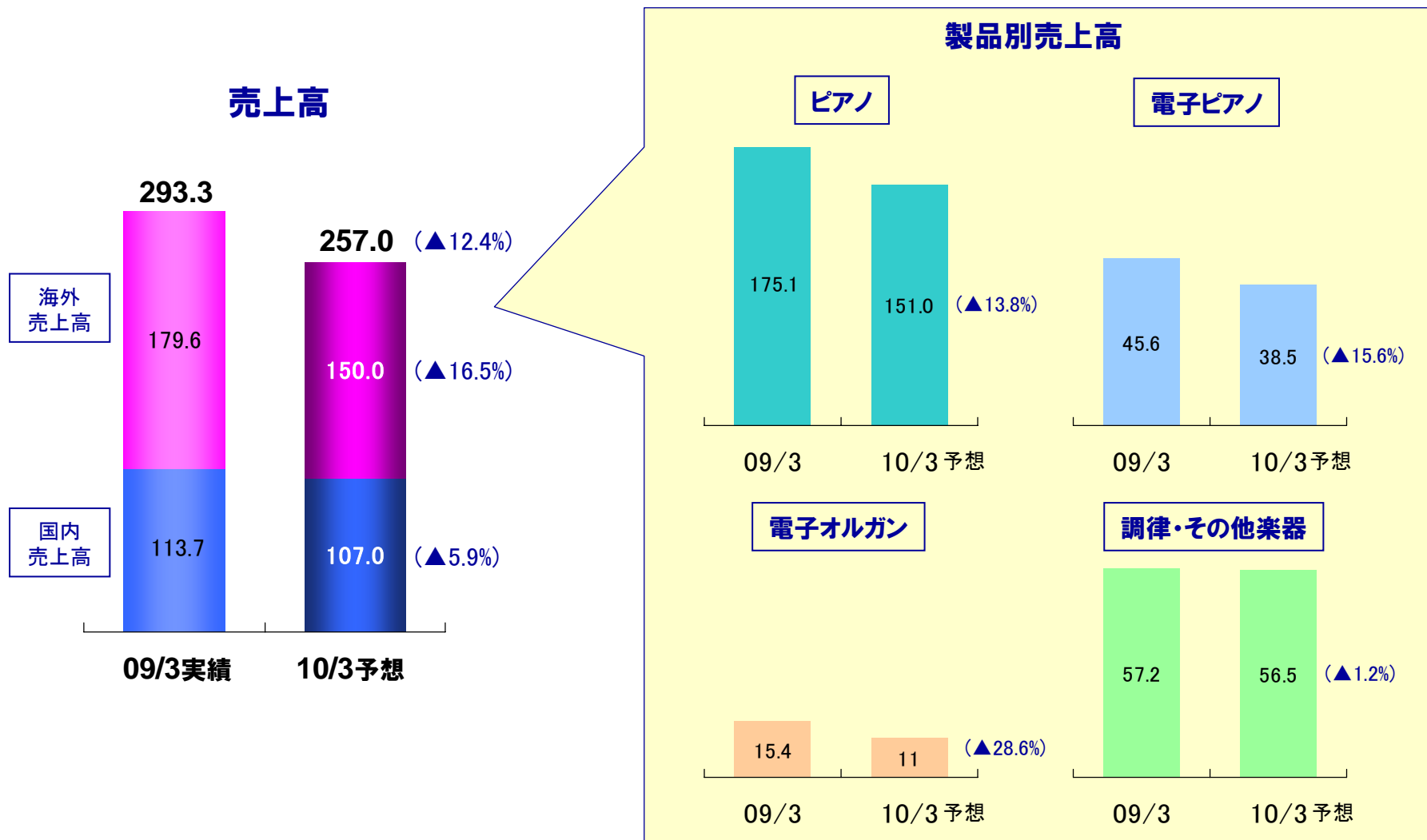
売上高



営業利益



◆各市場とも厳しい状況が継続し、ピアノ・電子ピアノともに減少の見通し。



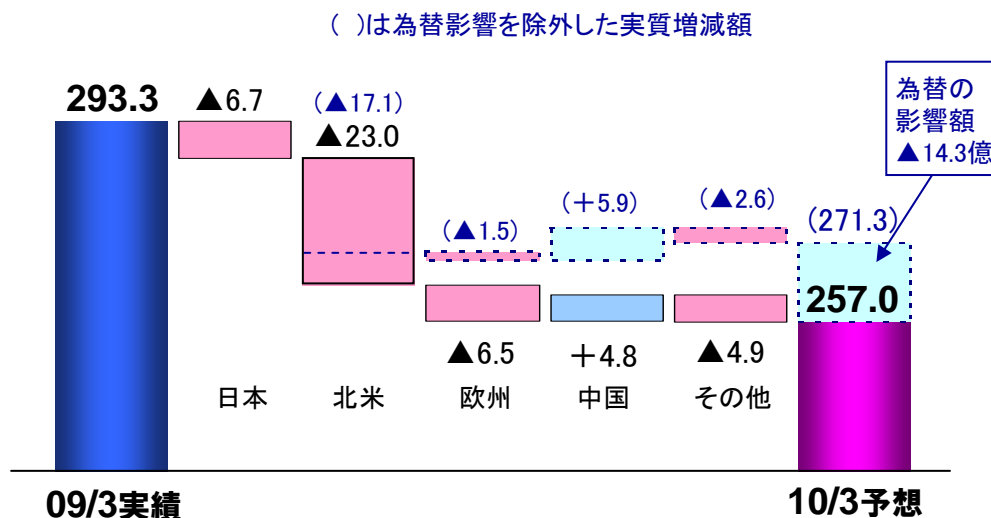
◆中国ピアノ需要は減速傾向にあるが、販売拡大によりシェアアップを図る。

日本	<ul style="list-style-type: none"> ・組織簡素化・拠点統合などの固定費削減を推進。 ・CRM(顧客情報管理システム)により直営販売の強みを生かし、顧客満足度向上を図る。
北米	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい経済環境の中、競争力の高い商品を投入。 ・グランドピアノRXブラックシリーズの投入により、巻き返しを図る。
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい経済環境の中、新規市場の掘り起こし、既存市場の取引先拡充等で販売網を充実。
中国	<ul style="list-style-type: none"> ・市場の高い経済成長率を背景に、音楽大学等における当社ピアノの高い評価をベースとして学校への販売を拡大し、シェアアップを図る。 ・現地販売会社との提携によるカワイ音楽教室開設を推進し、カワイブランドの普及拡大に努める。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・Shigeru Kawaiグランドピアノを軸に、ピアノ販売の増加を図る。

地域別売上高

〔単位:億円〕		09/3 実績	10/3 予想	前期比
日	本	113.7	107.0	▲5.9%
北	米	80.6	57.6	▲28.5%
欧	州	42.6	36.1	▲15.3%
中	国	36.0	40.8	+13.3%
そ	の	他	15.5	▲24.0%
合計		293.3	257.0	▲12.4%

為替レート	US\$	103.5円	90.0円
	EURO	152.4円	120.0円



◆Shigeru Kawaiの拡販、および生産拠点統合による合理化効果を発揮。

国内外で高い評価を受け、好調なShigeru Kawaiグランドピアノの増産体制を確立し、高い需要に対応。



発売10周年を契機に、さらなるブランド力の向上をめざす。

Shigeru Kawai
グランドピアノ

カワイが持てる最高の素材、技術、感性のすべてが注がれ完成したプレステージ・モデル



SK-7

竜洋工場に塗装工場、倉庫を新設し、国内のピアノ生産拠点を竜洋工場へ統合。2009年3月より本格稼働開始。



合理化効果を発揮



竜洋工場内新倉庫(08年12月完成)

◆インドネシア生産拠点を増強し、木製鍵盤など強みを生かした製品を開発。

カワイインドネシア第3工場の生産能力を増強し、コスト競争力を高める。



カワイインドネシア第3工場新倉庫(08年12月完成)

本格的な音とタッチの入門モデル「CN22」



独自技術の木製鍵盤、高品位のピアノ音など、当社の強みを生かした製品開発を強化。

木製鍵盤「AWAグランドプロII」



20万円を切る木製鍵盤モデル「CA12」



◆響板スピーカーシステム等、独自技術を生かした高付加価値製品を拡大。

アコースティックとデジタルの両方の技術を融合した独自のハイブリッド製品を拡販し、収益性の向上を図る。



ハイブリッド消音ピアノ
「ANYTIME X」シリーズ

響板スピーカーシステム



インテグレートッド
ハンマーセンシングシステム



◆音楽教室のさらなる収益性向上により、利益拡大を図る。

新設教室の生徒数増加、
既存教室の採算性向上に
より、利益拡大を図る。

不採算教室からの撤退を
推進。

イオン泉大沢センター教室(仙台)



2008年4月新規開設

4歳児からのグループコース 「ピコルわーど」



2009年4月よりスタート

カワイ音楽教育研究会会
員へのサービス向上によ
り、会員数の増加を図る。

当社音楽教育理念の浸
透をめざす。

カワイ音楽教育研究会

グレードテスト



コンクール



公開講座



発表会



◆カワイ体育教室の生徒数拡大、健康増進事業の伸張を図る。

カワイ体育教室

今年の開設40周年を契機に、カワイ体育教室の生徒数の拡大を図る。



成人向け健康教室、高齢者向け介護予防教室など、健康増進事業の伸張を図る。

成人向け健康教室



シニアけんこう音楽体操



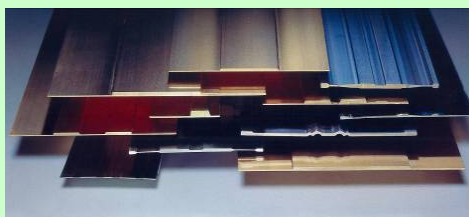
◆関連業界の厳しい状況は続くものと見込まれ、利益の確保に注力。

金属事業

受注回復時の安定供給への対応のため、生産能力を確保。

当社異形圧延加工技術の利用分野の拡大を図る。

高精度を誇る圧延異形板



浜松工場建物工事完了(5月)



塗装事業

改善活動を推進し、利益を確保するとともに、受注量の確保を図る。



音響事業

ピアノユーザーに、コンサルティングを含めた積極的な提案を実施。



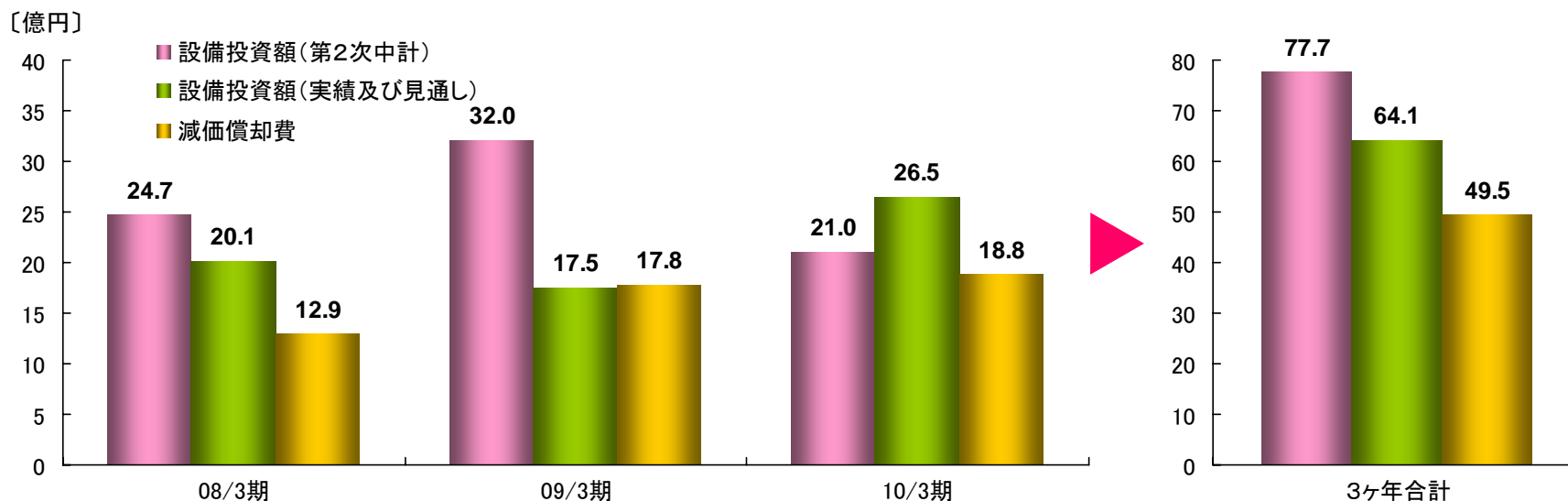
防音ルーム「ナサル」

◆投資計画を見直し、10/3期設備投資は26.5億円の見通し。

[単位:億円]

	09/3期	計画	実績	10/3期	見通し
楽器事業	生産設備(竜洋工場塗装 工程建設他)	11.5	7.6	生産設備(竜洋工場塗装 工程建設他)	11.4
	営業設備(準旗艦店 リニューアル他)	1.8	0.2	営業設備(準旗艦店 リニューアル他)	0.5
教育関連事業	音楽教室の新設	5.3	0.7	音楽教室の新設	1.0
素材加工事業	生産設備(金属工場増設)	5.8	5.2	生産設備(金属工場増設)	9.6
	生産設備(塗装他)	3.3	0.5	生産設備(塗装他)	0.6
その他	情報化投資他	4.3	3.3	情報化投資他	3.4
合計		32.0	17.5		26.5

※設備投資額についてはキャッシュフローベース



◆2009年3月期期末配当金は1.5円。次期配当は、現時点では未定。

基本方針

経営基盤の安定化に向けた内部留保を確保しつつ、株主各位への安定配当を行う。

2009年3月期 期末配当

今後の経営環境ならびに事業展開を考慮し、期末配当金1株あたり1.5円。

2010年3月期 期末配当

景気回復の動きが見られず、先行き不透明のため、現時点では未定。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

－ お問い合わせ先 －

〒430-8665 浜松市中区寺島町200 (株)河合楽器製作所
経営企画部 広報課 森口 Tel 053-457-1226